

ひらがなの書き順、わかりますか？

小学校に入学して、最初に習うのは「ひらがな」ですよ。

今、大五京・大五洋のこども園、幼稚園では、3歳児で「読み」を4歳児で「書き方」に取り組んでいます。

正しく鉛筆を持ち、正しい姿勢で書く事から始めていますが、皆さんは正しい書き順で「ひらがな」をかけますか？

「ひらがなくらい書けるでしょ」と思っている、意外と間違えたまま覚えている事があります。

子どもの頃についた癖を直すのは至難の業ですよ。

一番間違いやすい文字の一つが「も」です。

「横、横、たて」の順番だと思いませんか？これに似ている文字が「ま」です。

「も」は、「し」に似た形の縦から書くのが1画目になります。「たて、横、横」の順に書くのです。

「ま」は「横、横、たて」の順で書きます、似ているようで違うのですよ。

もし、お子さまが間違えて書いていたら、きちんと直してあげたいですね。

ほかにも、「や」「ら」「ふ」など意外と間違った書き順で覚えてしまっているひらがなも少なくありません。

書き順だけでなく、小学校では「とめ、はね、はらい」までしっかりと指導されるので、最初から正しく学び、しっかりと定着させることが肝心です。

大五京・大五洋では、その大切な時期に正しい文字指導を行うことでお子さまのはじめの一步をサポートしています。